

“がん”にまつわるお話し

山口先生より、一般的ながんの情報や当クリニックの取り組みなどを解説します。

理事長／山口 龍生

今日は 対策型検診

がん検診には、大きく分けて対策型検診と任意型検診の2種類があるんですよ。

今日は対策型検診をご紹介しましょう。



対策型検診 国が集団のがん死亡率を下げることを目的として行う検診のこと。

お住まいの地域や職場から通知を受け取って受診する住民検診、職域検診などがあります。

*

がんを早期発見すると、治療により治ることが期待できる。

主な5つの対策型検診はこれらです。【凡例】①対象年齢 ②検診方法 ③検診間隔

胃がん検診

- ①40歳以上
- ②胃部X線検査
(胃内視鏡検査は50歳以上)
- ③毎年



大腸がん検診

- ①40歳以上
- ②便潜血検査
- ③毎年



肺がん検診

- ①40歳以上
- ②胸部X線検査、必要に応じて喀痰細胞診
- ③毎年



乳がん検診

- ①40歳以上
- ②マンモグラフィと視触診
- ③年に1回



*自己負担額などの詳細は各自治体へお問い合わせください。



当クリニックでは、上記を含む全身のがんを一度で検査できるPET検診を実施しています。

詳しくは次号の「任意型検診」でご紹介します。



医療法人 西隆会
厚生仙台クリニック
KOUSEI SENDAI CLINIC

お客様専用フリーダイヤル

0120-501-799
FreeDial

〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目5-45

TEL.022-727-7667(代) FAX.022-727-7668

<http://kousei-sendai.jp>

電話受付:平日(月曜日~土曜日)9時~17時

休診日:日曜日・祝日

ご不明点やご質問等ありましたら、お電話にてお問い合わせください。
また、ホームページにも掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

こうせいだより／NEWSLETTER

KOUSEI vol.41

こうせいだより／NEWSLETTER

KOUSEI

厚生仙台クリニック

Vol.41

2018.04.01

発行／医療法人 西隆会 厚生仙台クリニック 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目5-45

掲載の内容についてのお問い合わせは、医療法人 西隆会 厚生仙台クリニックまでお客様フリーダイヤル 0120-501-799 □電話受付：平日(月曜日～土曜日)9時～17時 □休診日：日曜日・祝日

CONTENTS

連載 「健康友の会」のみなさまへ
新院長ごあいさつ 02

コース内容の改定をお知らせします 04

Q&Aコーナー
知りたい医療の知識 06

厚生仙台クリニックの
結果報告書を解説します 07



新院長ごあいさつ



院長 中川 学
なかがわ まなぶ

皆様初めまして。この度、院長を拝命いたしました中川学と申します。

医師になってから、仙台厚生病院、大原総合病院を中心 に、救急や癌の画像診断を主体とした医療に携わって参りました。昨年の1月に、出身医局である加齢研機能画像医学に戻り、1年間、認知症の診断に力を入れた医療に携わりました。これまでの経験を元に、高品質な医療を提供できるよう力を尽くす所存です。

さて、当クリニックはこれまで、初代小田和院長、前山口院長の元、「PETがん検診」を通じてがんの早期発見に努め、早期治療につなげることにより、多くの方に安心を提供していくことを使命としてまいりました。2016年に日本脳ドック学会の施設認定を受け、現在は「認知症」の検診にも力を入れております。

今後も「がん」「認知症」の診療及び検診を柱とし、皆様の様々なご要望にお応えしたいと存じます。充実したメニューで精度の高い検査と診断を心がけ、受診される皆様にご満足いただけるよう、スタッフ一同倍旧の努力を致します。今後ともご愛顧賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。



〈プロフィール〉

1995年東北大学医学部卒業。1996年4月仙台厚生病院放射線科。1996年7月公立米谷病院内科研修。1997年仙台厚生病院放射線科。1999年9月東北大学大学院医学博士課程修了。1999年10月東北大学附属病院加齢核医学科。2002年仙台厚生病院放射線科。2006年同科医長。2013年大原総合病院放射線科主任部長。2017年東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野 助教。2018年1月星陵会勤務。2018年4月より現職。

〈資格〉

医学博士、核医学専門医、放射線診断専門医、日本医学放射線学会研修指導者

理事長ごあいさつ

やまぐち たつお
理事長 山口 龍生

平素は大変お世話になっております。

平成26年12月より私が理事長と院長を兼務してまいりましたが、この度、新院長として中川学先生をお迎えすることとなりました。

中川先生は、私と同門の東北大学加齢医学研究所(旧抗酸菌病研究所)のご出身で、仙台厚生病院、大原総合病院を経て、CT、MRI、PETの画像診断を中心に研鑽を積まれ、PETがん検診にも大変造詣の深い、気鋭の放射線診断医です。新体制となりこれまで以上に高い精度のがん検診をご提供できるものと確信しています。

当クリニックは皆様のご厚情に支えられ、今日まで発展することができました。心より感謝申し上げます。今後とも「安心を提供する」ことを念頭に、受検者の皆様のご要望ご要請に応えていく所存です。

院長交代後も、私は理事長として従来通りの診療実務を担います。今後とも更なるご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

厚生仙台クリニックは、「健康友の会」会員様の健康維持、健康増進のサポートをし、また、ご家族様にも健康意識を高めていただくための健康管理の情報を提供することで、皆様の健康寿命(寝たきりや認知症にならず元気で活動的に生活できる期間)に貢献することを目的としています。

《会員の特典》

- ① 定期的な検診のご案内
- ② PET検診料金の割引
(他の割引と併用できない場合があります。)
- 会員価格 5,400円引き**
- 3回目以降のPET検診..10,800円引き**
- ③ 健康に関する有用な情報の提供
健康管理に役立つ会報誌「こうせいだより」を適宜提供致します。

《入会方法》

- 当クリニックで検診をご受診された方は自動的にご入会となります。
- 一度でもご受診された方は会員となります。
- 会員様よりご紹介された方も会員価格でお受診いただけます。

2018年4月よりコース内容を改定いたしました。

価格は据え置きで検査内容を見直し、より充実したPETがん検診をご提供できるようになりました。

○MRI検査で腹部の撮影を追加しました

2018年2月より、MRI装置が新しくなりました。装置がより高性能になったことで、MRIで腹部も撮影することとなりました。超音波検査、PET/CTと組み合わせることで、さらに診断の精度が上がります。

腹部MRIでわかること

肝臓、胆のう、腎臓、脾臓、膵臓、腹部大動脈などの病変

○全コースに乳腺の検査を 女性限定 追加しました

乳がんの増加に合わせてプレミアムコース以外のコースにも標準で組み込みました。

○全コースに腫瘍マーカー 男性限定 PSA F/T比を追加しました

前立腺がんと前立腺肥大症などを鑑別することができます。またMRIとPET/CTにより前立腺の画像診断を行います。

※プレミアムコースの前立腺超音波検査は廃止しました。



MRI装置 2018年2月導入

2018年4月～新・検診メニュー表

(消費税8%込)

検診コース		プレミアムコース	スタンダード+脳コース	スタンダードコース
検診料金		216,000円	194,400円	167,400円
面談・結果説明	●	●	●	●
PET	●	●	●	●
MR	頭部(MRI・MRA) 腹部・骨盤部	● ●	● ●	— ●
CT	頭頸部	●	●	●
	胸部・腹部	●	●	●
超音波	メタボリックシンドローム 頸部・腹部 乳腺(女性)	● ● ●	OP 8,640円 ● ●	OP 8,640円 ● ●
	一般検査 胃がんリスク検査 (ピロリ抗体+ペプシノーゲン)	●	● ●	● ●
血液検査	腫瘍マーカー6種 (AFP、PSA(男性)、CEA、CA125(女性)、シフラー、CA19-9、ProGRP)	●	●	●
	PSA F/T比(男性)	●	●	●
便検査・尿検査・尿細胞診	追加腫瘍マーカー5種 (SCC抗原、SLX、NCC-ST-439、PIVKA-II、尿中NMP22)	●	OP 10,800円	OP 10,800円
	膠原病・リウマチ検査	●	—	—
喀痰細胞診 眼底・眼圧 身長・体重・胸囲・血圧・視力・聴力 心電図 血圧脈波 肺機能	眼底・眼圧	●	—	—
	身長・体重・胸囲・血圧・視力・聴力 心電図 血圧脈波 肺機能	● ● ●	● OP 4,320円 OP 3,240円	● OP 4,320円 OP 3,240円

※上記のプレミアムコースに、胃内視鏡検査を受けたコースもご用意しております。(税込229,000円)

〈その他のオプション検査〉

- ◆ アレルギー5種 8,640円 ◆ HPV検査(女性) 6,480円
- ◆ アレルギー36種 21,600円 ◆ 骨密度 2,160円

○追加腫瘍マーカー3種→5種へ変更しました

PIVKA-II

肝細胞がんの腫瘍マーカー。AFPと組み合わせることで、より正確な診断ができます。

尿中NMP22

膀胱がんや腎臓がんなどPETでは診断の難しい尿路系がんの腫瘍マーカー。尿検査で調べます。

○膠原病・リウマチ検査を追加しました

抗核抗体

全身性エリテマトーデス(SLE)、全身性硬化症、混合性結合組織病などを調べます。

抗CCP抗体

関節リウマチを調べます。

《各コースの特長》

スタンダードコースより上位のプレミアムコースには、追加腫瘍マーカーを標準で組み込みました。また、早期の発見が難しい膠原病・リウマチ検査を追加し充実させました。

スタンダードコースとスタンダード+脳コースは、これまでよりがんの発見のための検査を強化しました。

レディースコースのがんに関する内容はスタンダードコースに含まれるため、コースを統合しました。

この機会に、ぜひPETがん検診を受けられることをお勧めいたします。
スタッフ一同心よりお待ちしております。

Q&Aコーナー

検診当日や結果報告書に
同封のアンケートにお寄せいただいた
ご意見、ご質問にお答えしていきます。



Q1 家で血圧を測るときは正常の値ですが、
病院で測るといつもより数値が高くなります。どうしてでしょうか？

A1 自宅では正常な血圧であるにもかかわらず、医師や看護師に血圧を測定してもらうと高くなってしまうことがあります。これを「白衣性高血圧」といいます。普段と違う環境の中に入ることで、緊張や不安などの精神的ストレスを受け、交感神経を刺激して血圧を上げてしまうために起こると考えられています。

当院では、血圧が普段より高いと申し出のある方や基準値より高い場合には、時間をおいて再度測定しています。

白衣性高血圧の人は将来的に高血圧になる可能性があるため、普段から定期的に血圧を測定することが大切です。



知っておきたい医療の知識

だい のう はく しつ へん か 大脳白質変化

大脳白質変化とは、大脳^{※1}の神経の一部である白質と呼ばれる部分の加齢変化をいいます。肌にしわやしみができるのと同じように、正常な脳の加齢による変化です。

加齢により動脈硬化が進行することで、脳への血流量が低下して起こるといわれています。年齢相応の白質変化は、病的なものではありませんが、年齢と比較して白質変化が進行すると脳梗塞や認知症を発症しやすくなります。

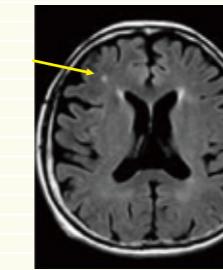
白質変化の最大の要因は血圧の上昇といわれています。また、脂質や血糖値の上昇、肥満、喫煙なども要因と考えられ、メタボリックシンドローム^{※2}や生活習慣病と密接な関わりがあります。

※1. 大脳：脳の大部分を占め、運動、視聴覚、嗅覚、味覚、言語などを司ります。

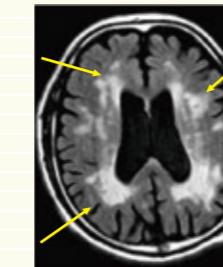
※2. メタボリックシンドローム：内臓脂肪型肥満に高血圧・高血糖・脂質異常が組み合わされた状態を指します。

〈MRIでみる大脳白質変化〉

矢印が示す白い部分が大脳白質変化です。



軽度



高度

厚生仙台クリニックの 結果報告書を解説します

本シリーズでは、当クリニックの結果報告書を元に、検査の解説をより詳しくご紹介いたします。

テーマ3 貧血

今回は主に「貧血」に関わる血液検査の項目を紹介します。

貧血に関する血液検査項目

赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリットが低下した状態の総称を貧血といいます。

赤血球 体の各細胞に酸素を運ぶ働きをする
(基準値:男性400-539万/ μl 、女性360-489万/ μl)

ヘモグロビン 赤血球の大部分を占めている要素
(基準値:男性13.1-16.6g/dl、女性12.1-14.6g/dl)

ヘマトクリット 一定量の血液中に含まれる赤血球の割合を示すもの
(基準値:男性38.5-48.9%、女性35.5-43.9%)

貧血の原因

内臓の障害や原因不明のものまで様々ありますが、最も多い貧血の原因是赤血球の材料である鉄分不足です。

- 鉄分不足：鉄欠乏性貧血
- 腎の障害：腎性貧血
- 胃の障害：悪性貧血
- 赤血球を正常に作ることが出来なくなる
原因不明のもの：再生不良性貧血 など

貧血の症状

体内が酸素不足になることで、様々な症状が現れます。

- だるさ ●頭痛 ●めまい ●立ちくらみ
- 疲れやすい ●動悸 ●息切れ など



貧血を予防するためには？

鉄欠乏性貧血の予防には毎日の食事が基本となります。以下のポイントを参考に、食習慣を見直してみましょう。

①肉・魚で鉄分をとる

肉や魚に含まれている「ヘム鉄」は体内へ吸収されやすい鉄です。



②ビタミンCをとる

鉄を体内に吸収しやすい形へ変えてくれます。

野菜、芋類、果物に多く含まれています。



③よく噛む

よく噛んで食べることで胃酸の分泌を促進し、鉄の吸収を高めます。

④バランスの良い食事を心がける

野菜や穀類などに含まれている「非ヘム鉄」は体内へ吸収されにくい鉄です。また、血液は鉄だけでなく、たんぱく質、ビタミンB6、B12、C、葉酸、銅などから作られています。これらをとるために、色々な食材を偏りなく食べましょう。

※女子栄養大学レシピサイト参考